



大会マスコットキャラクター
やた
八咫クロウ

みちびきの地南紀熊野

〜 出逢い 寄り添い

人と未来をつむぐケアマネジメント〜

写真提供: みなべ町

日本介護支援専門員協会 第21回近畿ブロック研究大会 in わかやま

Hotel & Resorts WAKAYAMA-MINABE
令和5年(2023年)2月17日(金)~18日(土)



LINE



ホームページ



facebook

日本介護支援専門員協会 第21回近畿ブロック研究大会 in わかやま

1. 趣旨

介護保険制度が始まり、20年が過ぎました。新型コロナウイルス感染症により、私たち介護支援専門員をとりまく環境は大きく変化していますが、制度創設時から変わらず「本人主体」「自立支援」「多職種協働」の実践に努めてきました。そんな中、高齢者の地域での生活を支える地域包括ケアシステムは、すべての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる地域共生社会の実現にむけて整備が進められています。この地域共生社会とは、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる包括的な社会です。高齢者支援を行う介護支援専門員には、その多様なニーズに対応した自立支援に資する、公正中立で質の高いケアマネジメントが求められています。さらに認知症高齢者の意思決定支援が必要な人や中重度の医療ニーズや看取り期にある人への適切なケアマネジメントについても充実させていく必要があります。

本大会では上記の趣旨をふまえ、みちびきの地 南紀熊野で、ともに生きる社会の実現にむけて介護支援専門員等の利用者支援のための面接力・アセスメント力の向上を図るとともに、人と未来を織りなすケアマネジメント研究をすすめることを目的として開催します。

2. 研究テーマ

みちびきの地 南紀熊野

～出逢い 寄り添い 人と未来をつむぐケアマネジメント～

3. 主催

一般社団法人日本介護支援専門員協会
一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会
一般社団法人兵庫県介護支援専門員協会
滋賀県介護支援専門員連絡協議会
特定非営利活動法人奈良県介護支援専門員協会
公益社団法人大阪介護支援専門員協会
公益社団法人京都府介護支援専門員会

4. 後援

和歌山県・みなべ町
一般社団法人 和歌山県医師会・一般社団法人 和歌山県歯科医師会
一般社団法人 和歌山県薬剤師会・公益社団法人 和歌山県病院協会
公益社団法人 和歌山県看護協会
一般社団法人 和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会
公益社団法人 和歌山県理学療法士協会・一般社団法人 和歌山県作業療法士会
一般社団法人 和歌山県言語聴覚士会・公益社団法人 和歌山県栄養士会
一般社団法人 和歌山県歯科衛生士会

公益社団法人 和歌山県柔道整復師会・一般社団法人 和歌山県接骨師会
 一般社団法人 和歌山県鍼灸師会・一般社団法人 和歌山県鍼灸マッサージ師会
 一般社団法人 和歌山県社会福祉士会・和歌山県精神保健福祉士協会
 一般社団法人 和歌山県介護福祉士会・一般社団法人 和歌山県老人福祉施設協議会
 一般社団法人 和歌山県老人保健施設協会・社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会
 公益社団法人 日本認知症グループホーム協会和歌山県支部
 一般社団法人 和歌山県ホームヘルパー協会
 一般社団法人 和歌山県認知症支援協会・一般財団法人 和歌山県老人クラブ連合会
 株式会社紀伊民報・株式会社和歌山放送
 株式会社テレビ和歌山・FM TANABE 株式会社
 南紀白浜コミュニティ放送株式会社 (順不同)

5. 大会開催日

令和5年（2023年）2月17日（金）～18日（土）

6. 参加対象者

介護支援専門員、福祉・保健・医療関係者、行政機関関係者、その他



大会マスコットキャラクター 八咫クロウ

7. 参加予定数

500人（定員を超えた場合、参加をお断りすることがあります。）

※その場合、会員を優先する場合があります。

8. 参加費

	日本介護支援 専門員協会会員	近畿の各介護支援 専門員協会会員	後援団体会員	その他
事前登録	8,000円	8,000円	8,000円	16,000円
当日登録	10,000円	10,000円	10,000円	20,000円
懇親会	10,000円（定員100人）			

9. お問い合わせ先

一般社団法人 和歌山県介護支援専門員協会

事務局所在地：和歌山市手平2丁目1番2号 和歌山ビッグ愛12階

電話番号 073-421-3066 ファックス番号 073-421-3067

メールアドレス kinkitaikai@wakayama-cma.com

10. 会場

Hotel & Resorts WAKAYAMA-MINABE

和歌山県日高郡みなべ町山内字大目津泊り348

電話番号：0739-72-5500

<https://www.daiwaresort.jp/minabe/>



和歌山県PRキャラクター
「きいちゃん」

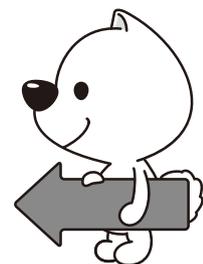
11. 日程

1日目 2月17日(金)

- 12:10 オープニングアトラクション 奥熊野太鼓 演奏
- 12:30 開会式
- 13:00 基調講演 (仮題)
「令和3年度介護報酬改定の効果の検証を踏まえて、
これからの介護保険制度の方向性について」
講師 厚生労働省 老健局認知症施策・地域介護推進課 (予定)
- 14:00 休憩
- 14:15 講演
「妖怪人間ベムは永遠に笑わない、忠犬ハチ公は永遠に待ち続ける」
—対人援助の本質は間(あわい)に—
講師：京都大学大学院 人間・環境学研究科 佐藤 泰子氏
- 15:45 休憩
- 16:00 鼎談
テーマ「ケアマネジメントプロセスとAI」
講師：
株式会社日本総合研究所創発戦略センターシニアマネジャー 齊木 大 氏
花園大学 社会福祉学部 社会福祉学科教授 福富 昌城 氏
医療法人 曙会 指定居宅介護支援事業所たんぽぽ (和歌山県和歌山市)
管理者 中谷 ゆかり 氏
- 17:30 一日目終了
- 18:00 懇親会
会場 Hotel & Resorts WAKAYAMA-MINABE 1階コンベンションホール

2日目 2月18日(土)

- 9:30 ケアマネジメント・介護支援専門員学術研究・実践事例発表会
- 11:30 休憩
- 11:45 特別講演 「ケアマネは地球を救う」～人間だもの…みつこ～
東京医療保健大学東が丘看護学部看護学科 大学院看護学研究科
教授 中島 美津子氏
- 12:15 日本介護支援専門員協会 活動報告
- 12:30 閉会式：次年度開催県挨拶
- 12:45 終了



和歌山県PRキャラクター
「きいちゃん」

12. プロフィール

講演 ● 講師プロフィール

佐藤 泰子 氏

2009年京都大学大学院 人間・環境学研究科 博士課程修了

京都大学博士（人間・環境学）取得

現在、京都大学大学院 人間・環境学研究科 研究員

京都大学、京都看護大学、聖泉大学、京都経済短期大学、

大阪人間科学大学等で死生学、医療倫理、

コミュニケーション論等の授業担当

コミュニケーション、ケア、倫理、死生などを研究していくなかで「人が苦しいとはどういうことか」についての解明が必要であることに気づく。そこで「人はなぜ苦しみ、そこからどのようにして新しい1歩を踏み出すのか」を構造的に理解するためのシエマ「苦しみと緩和の構造」を構築した。「苦しみと緩和の構造」、哲学、倫理学、死生学をもとに援助のあり方を探っている。

講演では、人間の苦しみと言語の関係を手掛かりに「聴くこと」「語ること」の本当の意味を解説する。そこが腑に落ちると誰でも援助的聴き手となりうることを伝えている。

また、死生観に伴う命題「生きる意味への問い」について、アニメや文学をモチーフにわかりやすく解説し、さらに人間関係（間（あわい））を端緒としたコミュニケーションのあり方を説いている。

<著書>

『死生の臨床人間学 ―「死」からはじまる「生」』晃洋書房

（「死」と「生」を倫理的側面から論じ、援助とコミュニケーションの在り方を追究した新刊）

『苦しみと緩和の臨床人間学 ―聴くこと、語ることの本当の意味―』単著 晃洋書房

『患者の力 ―がんに向き合う 生に向き合う―』編著 晃洋書房

『ヒューマンケアと看護学』共著 ナカニシヤ出版

『メンタルヘルスの理解のために ―こころの健康への多面的アプローチ―』共著 ミネルヴァ書房 等

鼎談者プロフィール

齊木 大 氏

2005年 京都大学工学研究科都市環境工学専攻修了

同年 株式会社日本総合研究所入社、現在に至る

研究・専門分野

- ・地域包括ケア、介護保険制度
- ・ケアマネジメント、在宅ケアにおける多職種協働
- ・ニーズに基づく新たな生活サービス（保険外サービス）の創出

注力テーマ

現在注力しているテーマは「時間とともに変わりゆく高齢者一人ひとりのニーズ」を出発点とするサービス創出・制度設計

福 富 昌 城 氏

花園大学教授 社会福祉学部 社会福祉学科

1988年3月 同志社大学大学院文学研究科社会福祉学専攻修了

1987年4月 社会福祉法人聖徳園、枚方ホームケアセンター勤務（ソーシャルワーカー）

1997年4月 滋賀文化短期大学人間福祉学科専任講師

2000年4月 滋賀文化短期大学人間福祉学科助教授

2001年4月 花園大学社会福祉学部専任講師

2003年4月 花園大学社会福祉学部助教授

2006年4月 花園大学社会福祉学部教授（現在に至る）

2017年4月 花園大学学務部長（～2019年3月）
2022年4月 花園大学社会福祉学部長（現在に至る）
京都市高齢者施策推進協議会会長
京都社会福祉士会相談役
京都府介護支援専門員会顧問
京都市高齢者虐待事例研究会座長
日本社会福祉士会会員

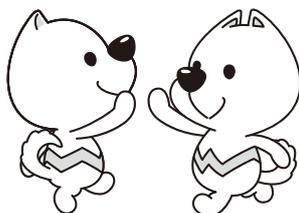
中 谷 ゆかり 氏

医療法人 曙会 指定居宅介護支援事業所たんぼぼ（和歌山市）
1986年 看護師免許取得 病院勤務
1996年 訪問看護ステーション管理者
2000年 介護支援専門員資格取得
2000年 居宅介護支援事業所勤務
和歌山市介護保険認定審査会認定審査員
和歌山県介護支援専門員指導者（企画、立案、講師）
和歌山県介護支援専門員法定研修運営委員会委員
医療法人曙会居宅介護支援事業所たんぼぼ管理者
和歌山県内の地域ケア個別会議に専門職として派遣

第2部 ● 特別講演 講師プロフィール

中 島 美津子 氏

九州大学病院、済生会病院、日赤病院などの臨床看護師を経て、九州大学、聖マリア学院大学で教育・研究職となり、「働きがいのある組織作り」の研究を始める。その後、見ず知らずのおじ様が研究結果をみておられ、ある日、突然、東京のとある500床クラスの病院の看護部長をして欲しいと電話があり「誰や？このおっさん？」と一度は断ったがその熱意と真摯さに心を打たれ、お役に立てるのであれば…と状況を決意。気がついたら家族で都内在住。そうすることで研究結果の実践を兼ね臨床現場に戻り看護部長、副院長を歴任。そうこうしていたら再び、母校で呼び戻され研究職として2015年より広島大学大学院へ移籍。2016年より現職。こう見えて、一応、2005年3月九州大学大学院（教育学修士）、2009年3月広島大学大学院（看護学博士）を修了。東京に来てからは大人しくしていたが、いつの間にか、日本看護協会ワークライフバランス推進事業の委員、複数県モデル事業アドバイザー、都道府県看護管理者研修、認定看護管理育成講師など「働きがいのある組織づくり」に欠かせない管理者育成支援のほか、何故か、2010年より厚生労働省医療労働に関する研究委員に就任。以来、働き方改革は医療の質向上が目的であることを日本中に伝えている伝道師の役割と共に、個別に労働環境の改善支援や幸せな生き方ができる職場支援を継続。コロナ下ではアカデミア看護研究会を発足させ、EXやDXなどの言葉に踊らされること無く「人間」を主眼にした医療界への支援のほか、看護職の採用と定着を考える会の理事を併任しつつ、登る、潜る、浸かる、観る、弾く等の趣味、仕事自体を楽しんでいる一日50時間くらい欲しい日々を送る。米国在住（American History 研究者）のアラサー娘、都内で一人暮らし（みっちゃんの研究室近く♡）の大学生の息子、そして案外もっとも手がかかる同じ年の男性の4人家族（結婚33年目）。人間も看護も大好きな看護界の異端者みっちゃん。



和歌山県PRキャラクター
「きいちゃん」

13. ケアマネジメント・ 介護支援専門員学術研究・実践事例発表会概要

私たち介護支援専門員は、認知症や終末期状態になったとしても、誰もが住み慣れた地域で人生最後まで自分らしい暮らしが実現できることを目指して支援を行っています。今回の研究・発表会の分科会では「終末期ケア、社会資源の有効活用、認知症ケア、主任介護支援専門員としての役割」の4つのテーマとしておりますが、いずれも広義では地域包括ケアシステムに通じる内容となっております。そのため、各地域の実践事例からケアマネジメントをより深く省察することにより資質向上への一助となれば幸いです。

第1分科会 「看取り・終末期分野 ～看取りにおける介護支援専門員の役割～」

命の期限を目のまえにすると、ほとんどの人が、治療等についての自己決定、望みを人に伝える事が困難になると言われています。そこで、本人の望む暮らしを実現するためには前もって話し合い、思いを周囲の信頼する人達に伝え、共有しておくことが重要となるため、介護支援専門員は必要な知識と技術を学び、どのタイミングでどのような支援を行うべきか、看取り期の介護支援専門員の役割について一緒に考えたいと思います。

キーワード

ACP（アドバンスケアプランニング）、人生会議、ターミナルケア、緩和ケア、独居の方の看取り、看取り期における医療者との連携、本人の思い・家族の思い、ターミナルケア加算、特定事業所加算（IV）

第2分科会 「認知症 ～社会資源を活用して地域で支える～」

認知症になっても地域の様々なサービスやサポートを活用する事で、自分らしく安心・安全に生活できる可能性があります。すなわち、医療や介護などの制度でのサービスだけではなく、家族会や民間の生活支援サービス、地域住民による見守りも生活を支える大きな資源になります。そこで、病態や環境等を捉えたケアマネジメントについて一緒に考えたいと思います。

キーワード

若年性認知症、認知症初期集中支援チーム、認知症の人の意思決定支援、認知症カフェ、BPSD、認知症の人と家族を支える、権利擁護、成年後見制度、認知症ケアパス、地域における見守り体制、徘徊ネットワーク

第3分科会 「多様な住まいのケアマネジメント～その人らしい暮らしの実現に向けて～」

私たちが支援を行う利用者は自宅だけでなく、介護保険施設やグループホーム等の入居系サービス施設、有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅などさまざまな住まいで暮らしています。本人が真に望む住まいではない場合もありますが、多様な住まいにおける利用者の望む暮らしとは何か。また、取り巻く環境との間に起こる問題や課題に対して介護支援専門員はどう関わっていくべきか、その人らしさを紐解きながら、そこで行われるケアマネジメントのあり方や実践方法について一緒に考えたいと思います。

キーワード

在宅復帰、施設での看取り、サービス付き高齢者住宅、グループホーム、小規模多機能型居宅介護、状態に応じた多様なサービス、地域包括ケアシステム、チームアプローチ、地域と施設の関り、利用者本位

第4分科会 「教育 ～地域における主任介護支援専門員の役割～」

地域包括ケアを推進していくうえで、主任介護支援専門員の役割は多岐にわたります。なかでも医療職をはじめとする多職種連携や自立支援に資するケアマネジメントが実践可能な介護支援専門員の育成、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりの実践などが喫緊の課題だと言われています。そのためには、

主任介護支援専門員が事業所内や地域において、その力を発揮する事が出来る仕組みが必要となります。そこで、専門職として、主任介護支援専門員として求められる役割を果たすためにどのような取り組みや仕組みが必要か、一緒に考えたいと思います。

キーワード

スーパービジョン、主任介護支援専門員、特定事業所加算、地域ケア会議、自立支援型ケアマネジメント、法令遵守、倫理綱領、社会資源の開発、人材育成、対人援助能力

ワークショップ 望む暮らしを支える「人」とテクノロジーの可能性

『その人らしさ（望む暮らし）を支える』のは、人だけでなく、自助具や機器としての「道具（ツール）」があり、テクノロジーの進歩、発展が、望む暮らしの実現に近づいています。

「望む暮らしを支える」ケアマネジャーの支援にも、同様の進歩を取り入れていくことも求められており、AIもケアマネジメント手法の1つ「道具（ツール）」として活用することが、望む暮らしの実現に役立つことを学ぶ機会としたいと思います。

キーワード

AI、テクノロジー、生活支援ツール等

ワークショップの 主な内容

障害のある方、高齢者が、ICT/IoTをはじめとするテクノロジーを活用することで、生活が豊かになる可能性が高まります。実際にそれらのテクノロジーを活用している事例の支援過程を元に、事例検討、支援機器の体験を通して、テクノロジーの活用するための注意点を学べる内容です。翌日からの支援に役立つように、具体的な事例を紹介いただきます。

コーディネーター 小林 大作 氏（株式会社アシテック・オコ）

プロフィール

2007年3月 国際医療福祉大学 保健医療学部 作業療法学科 卒業
2014年3月 国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻 作業療法学分野 修士課程修了（保健医療学）
2007年4月～2011年3月 恩賜財団 社会福祉法人 済生会有田病院 リハビリテーション科
2011年4月～2015年3月 学校法人国際医療福祉大学 西那須野マロニエ訪問看護ステーション
2015年4月～2021年3月 株式会社 紀州ライフコーディネートサービス 紀州リハビリケア訪問看護ステーション
2021年4月 株式会社アシテック・オコ 代表取締役
2022年4月 宝塚医療大学 和歌山保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 非常勤講師
2022年4月 東京福祉専門学校 作業療法士科 非常勤講師

日本作業療法士協会 福祉用具相談支援システム 和歌山県代表アドバイザー
和歌山県作業療法士会 住環境福祉機器支援推進委員会 委員長
和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会 理事
日本福祉用具供給協会 福祉用具安全利用に向けた検討委員会 委員
和歌山市難病患者地域支援連絡会議 委員
大阪府和泉保健所 在宅難病患者専門的訪問指導事業 訪問指導員
大阪府泉佐野保健所 在宅難病患者訪問事業 訪問指導員

保有資格

作業療法士（2007年・国家資格）、認定作業療法士（2012年認定）、専門作業療法士（訪問作業療法分野・2019年認定）、福祉情報技術コーディネーター 1級（2015年取得）、AAICT Basic（2021年取得）

ケアマネジメント・介護支援専門員学術研究・ 実践事例発表会一般演題の募集について

本大会では、ケアマネジメント・介護支援専門員学術研究・実践事例発表会の分科会テーマに沿った研究の口述発表者を募集します。発表形式は、口述形式のみです。発表時間は一人8分、質疑応答は4分です。活発な議論により、研究を深めたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。なお、学術研究・実践事例発表は令和5年2月18日（土）午前中となります。

1. 発表申し込み資格

- 1) 発表者ならびに共同研究者は、日本協会会員、近畿各府県介護支援専門員協（議）会の会員に限ります。
- 2) 発表者ならびに共同研究者は、第21回近畿ブロック研究大会 in わかやまへの参加申し込みした者に限ります。
- 3) 共同研究者は5名以下とし、研究発表のどの部分を担当したかを事前に提出していただきます。
*単にアンケート集計を行った、スライド作成のみに関わっただけでは共同研究者として認めません。
*研究内容のうち「目的」「方法」「結果」「考察」「結論」のどの部分でどのように関わったのかを抄録提出時に確認します。
- 4) 日本協会会員、近畿各府県介護支援専門員協（議）会の会員以外で研究に関わった方は「研究協力者」として記載してください。

2. 発表申し込み期間

令和4年9月1日～令和4年10月31日（月） *採択は令和4年11月中頃を予定しています。
抄録締切 令和4年11月15日（火）

3. 発表申し込み

参加申し込み同様に大会ホームページの東武トップツアーズ株式会社 和歌山支店の演題登録システムより必要事項を記載の上登録してください。

- *ご登録時のメールアドレスに携帯電話のアドレスは利用できませんので、ご注意ください。
- *フリーメールを使用したご登録は、登録完了後の自動返信メールが届かない可能性がございますので、ご注意ください。

4. 発表形式

本大会では、口述形式のみです。
発表時間：8分、質疑応答は4分です。
発表時間を超過した場合、途中までの発表となることがありますのでご注意ください。

5. 抄録原稿及び発表データ作成要領

抄録フォーマットを使用してください。
発表テーマ、都道府県、所属先等の名称、職種・職名等、筆頭演者の氏名をレジユメの頭部につけて作成してください。

- 1) 抄録原稿は原則として、1演題につきA4サイズ2枚までとします。（図表が含まれている場合は、4枚まで可）
- 2) 書き方
 - ・「演題名」は、16ポイントのMS明朝体で、最上段の第1行目から2行目のほぼ中央部を使用し、副題がある場合は、行を改めてください。
 - ・「発表者氏名・所属」は11ポイントのMS明朝体で第4行目から5行目の中央部を使用してください。
 - ・共同研究の場合は、発表者所属の下段に「共同研究者氏名」9ポイントのMS明朝体で記載してください。

最初に○印をつけて□頭発表者名を書いてください。

- ・研究協力者は共同研究者の一段下に記載してください。
- ・「本文」は 10.5 ポイントの MS 明朝体を使用して左揃えにし、2 段組みで作成してください。
- ・「目的」「方法」「倫理的配慮」「結果」「考察」「結論」及び「文献」などの見出しを必ず付けてください。
- ・図表及び写真のタイトルは、図・写真が下、表が上で大きさに注意して作成してください。
- ・「目的」は必ず作業仮説（なぜこの研究を行うのか、どのような事例や手段をもちいるのか）を記載、「方法」は内容を具体的に記載し、追試を可能としてください。「結果」では調査結果を明確にし、多数例では統計的処理を行ってください。また、「考察」ではこの研究のどの部分が、どの程度社会に意義があり、新しい発見なのか、他人の考え（文献）と比べてどこが違うのかを述べてください。
- ・本文中に「スライド番号」を記載しないでください。
- ・本文は「である調」で作成し、謝辞は不要です。
- ・抄録原稿は「Microsoft Office Word 2003・2007・2010・2013・2016・2019」のデータ形式で提出してください。
- ・抄録フォーマットを大会ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

3) その他の注意事項

- ・発表演題については、府県支部や市町村支部が主催する研究大会を除き、他の学会や研究大会等で発表した演題の発表は認めません。
- ・業務の内容を逸脱せず、倫理的に正しい内容にしてください。
- ・発表に使用したデータがプライバシーを侵害する恐れのあるものについては当事者に説明し、発表についての了解を得ていることを抄録中に記述してください。この記述がない研究・実践事例発表は、採択されることがあります。
- ・抄録原稿の記述に際して、個人や地名、団体、学校等の特定につながる記述をしないようにしてください。イニシャルを使用する場合は、実際のイニシャルではなく、A 県、B 町、C さんなどと記述してください。この配慮が不十分な発表は採択されることがあります。また、採択された場合であっても修正を求めます。
- ・発表者が所属する機関の倫理委員会で承認された研究である場合は、その旨を抄録中に記載してください。
- ・査読の結果、変更、修正をお願いすることがありますので、ご了承ください。
- ・発表していただく分科会は、テーマ、内容、応募者数により変更させていただく場合があります。また、応募者多数の場合は、近畿ブロック介護支援専門員協（議）会会員を優先し、お断りすることもあります。
- ・事例に関する個人情報の保護・人権擁護については、発表者が十分ご配慮くださいますようお願いいたします。

4) 発表の際の留意事項

- ・スライド形式は問いませんが、動画や音声、アニメーションの使用は禁止します。
- ・スライドデータはPDF形式で大会事務局へ事前に送信してください。
- ・提出したスライドの変更は原則認めません。
- ・スライドデータの枚数は 30 枚以下に収め、「スライド番号」は記載しないでください。
- ・研究発表にCOI（利益相反）がある場合はスライドに掲載してください。フォーマットは演題登録システムに掲載します。なお、COIスライドはスライドの枚数には含めません。

【演題登録システム】

URL : https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/kaigoshien_wakayama/



【お問い合わせ先】 東武トップツアーズ株式会社 和歌山支店

TEL.073-425-3211 E-mail : atsushi_yamagaki@tobutoptours.co.jp

〒640-8331 和歌山市美園町3丁目32-1 損保ジャパン和歌山ビル6階 FAX:073-424-1683

担当:土井・山垣 営業日・受付時間/平日(月曜～金曜)9:30～17:30(休業日:土曜・日曜・祝祭日)

協賛・大会誌広告・バナー広告・コマーシャル広告

●協賛・広告

- (1) 協賛金 ー□ 1万円
(2) 大会誌広告

種類	価格	サイズ 縦(mm) ×横(mm)
⑥記事1/2頁(モノクロ)	3万円	132.5×180
⑦記事1頁(モノクロ)	5万円	275×180

掲載順は、申し込み順とさせていただきます。

- (3) バナー広告

大会ホームページにて、大会終了まで掲載します。

サイズ	価格	備考
⑧ 縦40ピクセル×横200ピクセル	5万円	ファイル形式: GIF形式または JPEG形式 データ容量: 500KB以内

掲載順は原則として、申し込み順とさせていただきます。

- (4) コマーシャル広告

大会会場にて、大会各日1回以上上映します。

上映時間	価格	備考
⑨30秒未満	5万円	ファイル形式: mov,mp4,wmv,m4v,aviのいずれか データ量: 1GB以内 音声: 2chステレオまたはモノラル
⑩30秒以上60秒未満	8万円	

⑨⑩の特典として、大会ホームページにバナー広告を掲載させていただきます。

●申し込み

締切日	令和4年11月15日(火)
受付方法	FAX・E-mail・インターネット
受付先	一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 FAX: 073-421-3067 E-mail: kinkitaikai@wakayama-cma.com インターネット: https://forms.gle/WjBBexSxoFMSLQC96 
注意事項	FAX、E-mailでお申し込みの場合は受付先に申し込み書をお送りください

入金方法や入稿データ等については、大会ホームページをごらんください。

URL https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/kaigoshien_wakayama/ 

出展について

会場のホテル内に出展ブースを設けます。

一小間のサイズは1.8m×1.8m角となり、展示フロアの高さは約3mです。

テーブル・白布・椅子、及び、ブースの仕切り兼バックとなるパネルはこちらで提供可能ですが、それ以外の必要物品は各企業様でご準備ください。

展示物や展示にかかる物品等は決定したブースの範囲で収まるようにお願いします。

電気機器の使用可。Wi-Fi 環境あり。

申し込みの締め切りは令和4年10月31日（月）です。

小間数に限りがあるため、多数のご応募をいただいた場合は大会の趣旨に沿ってこちらで選定させていただく場合がございますので予めご了承願います。

詳細につきましては、決定通知ののち調整させていただきます。

出展申し込み書

希望小間数	<input type="text"/>	小間 ×	20,000円 =	<input type="text"/>	,000円
貴社名					
ご住所					
TEL	()	FAX	()		
ご担当部署			ご担当者		
メールアドレス	@				

お問合せ先(土日祝を除く8:30~17:30)

一般社団法人 和歌山県介護支援専門員協会
TEL.073-421-3066 FAX.073-421-3067
E-mail kinkitaikai@wakayama-cma.com

大会参加・懇親会・宿泊・観光のご案内

この度「日本介護支援専門員協会 第21回近畿ブロック研究大会 in わかやま」が和歌山県みなべ町で開催のはこびとなりましたことを心よりお祝い申し上げます。

大会の参加に際し、皆様の参加登録・宿泊・懇親会等の受付を東武トップツアーズ（株）和歌山支店がお引き受けすることとなりました。つきましては下記の通りご案内申し上げます。

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催規模等を変更する場合があります。

1. お申し込み方法・お支払い方法

お申し込みは下記ホームページよりお願いいたします

https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/kaigoshien_wakayama/



1) インターネット WEB でのお申し込みについて

お申し込み方法：上記 URL よりお申し込みください。

お支払方法：①銀行振込／お支払いページに表示されている請求額を指定口座へお振込みください。

②クレジットカード決済／クレジットカード情報を入力して頂きますと、お支払が完了いたします。

2) インターネットでお申し込みができない場合（FAX 又は郵送にてお申し込みください）

お申し込み方法：ホームページより申し込み用紙をダウンロードいただくか、最終ページに必要事項をご記入の上、**FAX.073-424-1683** 又は郵送にてお申し込みください。

お支払方法：銀行振込にてお願いいたします。申し込み受付後、請求書を郵送いたします。指定の期日までにお振込みください

申し込み締切日／令和5年1月13日(金)

支払期限／令和5年1月17日(火)

2. 参加券等について

大会参加券・宿泊券・懇親会券等につきましては、申し込み、ご入金後システムより各自でダウンロードの上、印刷していただくか、スマートフォンの画面表示をお願いします。

※スマートフォン等でマイページにログインしていただき、当日二次元バーコードをご提示ください。スマートフォン等でのご提示が不可能な方はプリントアウトしてお持ちください。

※FAX や郵送でお申込みの参加者には参加券を郵送いたします。

3. 大会参加・懇親会のご案内（旅行契約には該当いたしません）

事務局様からの依頼を受けて、東武トップツアーズ（株）和歌山支店が代行受付・集金業務を行ないます。

1) 大会参加費

事前登録：会員 8,000 円／非会員 16,000 円

当日登録：会員 10,000 円／非会員 20,000 円

2) 懇親会

日 時：令和5年2月17日（金）

会 場：Hotel&Resorts WAKAYAMA-MINABE 1階 コンベンションホール

懇親会費：10,000 円（先着 100 名）

※当日は、和歌山県ならではの食材やアトラクションを予定しています。

皆様、お誘い合わせの上、ご参加ください。

3) 取消料について

大会参加費：お申し込み後、既にお振込みされました参加費の払い戻しは行いません。

ご欠席の方には、大会終了後、大会誌をお送りします。

懇親会費：令和5年2月10日（金）17:00 以後の取消については、100%の取消料を申し受けます。

4. ワンコイン送迎バスのご案内（募集型企画旅行）

2月17日（金）〈片道のみ運行、@500円(税込) 事前予約制〉

1. JR 南部駅 11時20分発 → 大会会場（所要約10分）

2. JR 紀伊田辺駅 10時20分発 → 大会会場（所要約30分）

※ご希望の方は参加申し込み時に合わせてお申し込みください。

利用バス会社：竜神自動車
最少催行人員：1名
添乗員同行致しません

●送迎バス取消料について

お申し込み後、送迎バスの予約を取り消される場合は下記料率にて取消料が発生致します。

取消日	旅行開始の前日から起算してさかのぼって		旅行開始日の前日	旅行開始日当日	旅行開始後または無連絡不参加
	10日前から8日前まで	7日前から2日前まで			
取消料	旅行代金の20%	旅行代金の30%	旅行代金の40%	旅行代金の50%	旅行代金の100%

5. 宿泊プランのご案内 (募集型企画旅行)

予め旅行条件書をご確認の上、お申込みください。

●宿泊設定期間：令和5年2月17日（金）

●旅行(宿泊)代金：お一人様あたり1泊朝食付き、税・サービス料込みの代金です。

ホテル名【エリア】		プラン	部屋タイプ	2月17日(金)	アクセス【最寄り駅よりホテル間】	夕食オプション
大会会場	Hotel&Resorts WAKAYAMA-MINABE	A-1	シングル	15,000円	南部駅より10分以内	可
		A-2	ツイン	10,000円		
		A-3	トリプル	9,000円		
田辺	ホテルハーヴェスト 南紀田辺	B-1	シングル	13,000円	紀伊田辺駅より車15分	不可
		B-2	ツイン	10,000円		

※最少催行人員：1名

※添乗員は同行致しません。ホテルチェックインはお客様で行って頂きます。

※朝食が不要な場合でも返金は致しかねます。

※夕食可能ホテルにて、夕食をご希望の場合は申し込み書備考欄にその旨をご記入ください。@8,000円（税込）

※確保客室数の関係上、必ずしもご希望に沿えない場合もあります。

その場合は他のホテルに変更をお願いすることもございますので、予めご了承ください。

●宿泊プラン取消料について

お申し込み後、宿泊予約を取り消される場合は下記料率にて取消料が発生致します。

取消日	旅行開始の前日から起算してさかのぼって		旅行開始日前日の解除	旅行開始日当日の解除	旅行開始後の解除または無連絡不参加
	14日前から8日前まで	7日前から2日前まで			
取消料	旅行代金の20%	旅行代金の30%	旅行代金の40%	旅行代金の50%	旅行代金の100%

※ご宿泊当日13時までに取消の連絡がない場合は無連絡不泊として取扱い、100%の取消料を申し受けます。

6. 昼食ご案内

会場館内のレストランはございますが、座席数が十分にございませんので、各自、会場到着前に昼食をおすませいただく事をお勧めいたします。また、ホテル周辺にはコンビニ含め店舗等はございませんのでご注意ください。

7. 変更・取消について

※FAX や郵送でお申し込みの方は、変更・取消連絡の場合もこの用紙をご利用ください。

またシステムで申込の方は、システム上で変更・取消が可能です。

承認番号【客国22-372】

※個人情報の取扱いについて

旅行申し込みの際に提出頂いた個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただき、お客様がお申込みいただいた旅行において運送、宿泊機関、手配代行等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

※この旅行条件・旅行代金は、2022年9月1日現在を基準としております。

【旅行企画・実施】

観光庁長官登録旅行業第38号 JATA正会員 ボンド保証会員

東武トップツアーズ株式会社 和歌山支店

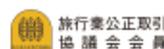
〒640-8331 和歌山市美園町3丁目32-1 損保ジャパン和歌山ビル6階

TEL:073-422-3211 FAX:073-424-1683

営業日・受付時間／平日(月曜～金曜)9:30～17:30(休業日:土曜・日曜・祝日)

担当者:土井・山垣 E-mail: atsushi_yamagaki@tobutoptours.co.jp

総合旅行業務取扱管理者:川嶋弘晃



8. アクセス

JR新大阪駅より (紀勢本線) 特急くろしお号利用

〔くろしお3号〕新大阪(9:01発)
→ 南部駅(11:14着)
〔くろしお1号〕新大阪(7:35発)
→ 紀伊田辺駅(9:58着)

東京国際空港(羽田)より

JAL-213利用
東京国際空港(羽田)(7:25発)
→ 南紀白浜空港(8:40着)
〔明光バス〕南紀白浜空港(9:28発)
→ 紀伊田辺駅(10:11着)

高速バス(明光バス)

大阪駅JR高速バスターミナル(7:50発)
JRなんば駅(OCAT)(8:10発)
→ みなべ役場前(10:30着)

駐車場

※駐車場のご利用は先着順となります。
・料金…無料
・収納台数…260台



日本介護支援専門員協会 第21回近畿ブロック研究大会inわかやま

大会参加・分科会
懇親会・宿泊申し込み書

申し込み書送信先FAX:073-424-1683
申し込み締切日:令和5年1月13日(金)

旅行手配のために必要な範囲内での宿泊機関・保険会社等への個人情報提供について同意のうえ申し込みます

申し込み日 年 月 日

都道府県名	申し込み代表者名(フリガナ)	書類送付先住所	所属先	連絡先
		〒	□所属先 □自宅	TEL
				携帯
		メールアドレス/	@	FAX
				<input type="checkbox"/> メルマガ配信不要の方

来場交通手段	JR・航空機・高速バス・貸切バス・乗用車・送迎バス(500円)・その他()	後援団体の会員登録記載欄: 団体名()
--------	--	----------------------

※会員番号は下記の会員番号記載欄へご記入ください。

※会員の方は、会員番号もお忘れなくご記入ください。 ※5名様以上のお申し込みに際しましては、お手数ですがコピーにてご対応をお願い致します。

No.	参加者氏名 フリガナ	参加種別 1.日本会員 2.近畿会員 3.後援団体 4.その他	会員番号	分科会(分科会番号)		ホテルプラン記号	懇親会	送迎バス	1.南都駅発 2.紀伊田辺駅発	宿泊同室者名 (棟数の場合)	備考 (夕食希望日)
				第1希望	第2希望						
見本	ワカヤマ 和歌山 花子	1	12000**	1	5	A-2	B-2	○	1	ワカヤマタロウ 和歌山 太郎	○
1											
2											
3											
4											

※申し込み受付完了後、代金請求書をお送り致します。

その他(手話通訳の必要な方、車椅子ご利用等の特別な配慮を必要とされる方はその旨をご記入ください。)

※FAXや郵送でお申し込みの方は、変更・取消連絡の場合もこの用紙をご利用ください。またシステムで申込の方は、システム上で変更・取消が可能です。

当社記載欄

【お問い合わせ先】

東武トップツアーズ株式会社 和歌山支店

〒640-8331 和歌山市美園町3丁目32-1 損保ジャパン和歌山ビル6階
TEL:073-425-3211 FAX:073-424-1683
営業日:受付時間/平日(月曜~金曜)9:30~17:30
(休業日:土曜・日曜・祝日) 担当:山垣・鈴木・土井